

阿知和地区工業団地造成事業〔予算額 7,927,001千円〕

総合政策部地域創生課
政策推進係(23-7214)

阿知和地区工業団地関連道路整備業務〔予算額 1,548,171千円〕

財源内訳	阿知和地区工業団地造成事業:繰入金 512,000千円、繰越金 1千円、市債 7,415,000千円 ※特別会計全体
	阿知和地区工業団地関連道路整備業務:国庫支出金 495,000千円、諸収入 1,000千円、市債 720,000千円、一般財源 332,171千円



■阿知和地区工業団地造成事業

開発面積：約 63ha 分譲面積：約 32ha

工業団地とスマートインターチェンジを一体的に整備します。

⇒「雇用の創出」と「税収の増加」

■阿知和地区工業団地関連道路整備業務

北アクセス道路及び南アクセス道路を整備します。

⇒「工業団地へのアクセス確保」及び「周辺道路の渋滞緩和」



スマートインターチェンジ整備業務〔予算額 436,851千円〕

〔令和7年度3月補正に前倒した予算額 168,927千円〕(合計予算額 605,778千円)

総合政策部地域創生課
技術係(23-6565)

財源内訳 国庫支出金 112,000千円、諸収入 135,706千円、市債 145,000千円、一般財源 44,145千円

新たな北の玄関口として、本市初となるスマートインターチェンジをNEXCO 中日本と協力して整備します。
また、工業団地及びスマートインターチェンジへつながる西アクセス道路を整備します。



スマートインターチェンジの整備効果

- ⇒産業活動の支援
工業団地に直結、物流の効率化
- ⇒交通渋滞の緩和
隣接 IC への交通集中が分散
- ⇒地域活性化・観光振興
北部を起点に市内周遊観光
- ⇒防災機能の強化
災害時にスマートインターチェンジから龍北総合運動場(北部の防災拠点)まで速く物資輸送が可能



※スマートインターチェンジは阿知和地区工業団地の造成完了(令和8年度末)後、進出企業が操業開始するまでの開通を目指します。

交通政策推進業務〔予算額 31,927千円〕

総合政策部地域創生課
公共交通係(23-6486)

財源内訳 繰入金 100千円、諸収入 861千円、一般財源 30,966千円

持続的で利便性の高い公共交通の実現に向けて岡崎市地域公共交通計画の改訂を進めるとともに、移動手段確保のための施策を実施します。

地域公共交通計画策定負担金

- 岡崎市地域公共交通計画の計画期間(R4~R8)が終期を迎えるのに先立ち、次期計画(R9~R13)の改訂を進めます。

- ◆ 計画策定主体
岡崎市
- ◆ 計画策定期間
2 年(R7~R8)

【令和8年度の主な業務内容】

- ・計画目標の設定
- ・具体的な施策の設定
- ・KPI(重要業績評価指標)の設定
- ・評価方法、指標の整理
- ・評価スケジュールの整理
- ・地域公共交通計画の作成



移動手段確保対策費負担金

チョイソコおかざき(六ツ美中部学区) 矢作デマンド(矢作地域)

- 交通空白における日常生活の移動手段を確保するため、地域内交通として、予約型乗合タクシーの運行を行います。



- 「地域内交通」は、既存の公共交通を補完するものです。導入する際には、交通手段ごとの役割分担を意識して他の交通手段と競合しないことを前提に、地域住民・交通事業者・岡崎市が役割を理解・連携したうえで、地域住民が自ら提案し(又は運営し)移動手段を確保することが重要です。

高齢者パス負担金 (高齢者の免許返納の促進に関する モニター調査)

- 「高齢者パスの購入促進が公共交通の利用に繋がり、免許返納にどの程度有効であるのか」をモニター調査します。
- 調査に参加いただける方に対して、バス事業者が 65 歳以上の方に販売する「高齢者パス」の購入に伴う費用の一部を補助します。

◎高齢者パスとは…

シルバーパス 65 とゴールドパス 70 の 2 種類があり、一部路線を除き名鉄バス全線が利用可能な定額制・乗り放題のフリーパスです。

鉄道駅バリアフリー化推進業務〔予算額 11,663千円〕

総合政策部地域創生課

公共交通係(23-6486)

財源内訳 一般財源 11,663千円

「中岡崎駅・岡崎公園前駅周辺地区バリアフリー基本構想」（令和6年度策定）に基づき、鉄道の乗換えを含めた地区のバリアフリー化を推進します。

◎中岡崎駅・岡崎公園前駅周辺地区バリアフリー化事業概要

整備箇所 中岡崎駅・岡崎公園前駅周辺地区バリアフリー基本構想に
位置付けられた重点整備地区内

主な整備内容

【愛知環状鉄道による整備】

内容：中岡崎駅へのエレベーター及びバリアフリースイレの設置

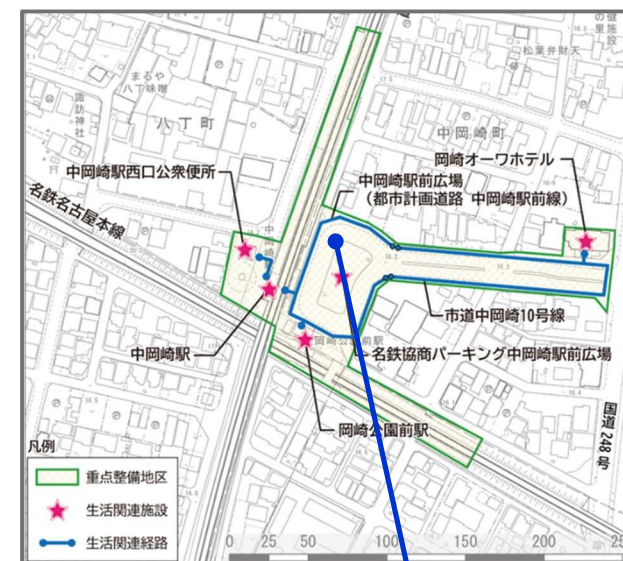
期間：令和6年度～令和10年度

【岡崎市による整備】

内容：設置予定のエレベーターまでの視覚障がい者誘導用ブロックの敷設
上屋の設置（中岡崎駅エレベーター設置予定付近から岡崎公園前駅間）

市道中岡崎10号線や中岡崎駅前広場等の段差解消 等

期間：令和8年度～令和11年度



◆令和8年度予算内容

(1) 周辺地区の測量設計業務

内容：上記の【岡崎市による整備】実施にあたっての必要な測量及び詳細設計を行う。

範囲：重点整備地区のうち、岡崎オーワホテル及び線路敷を除く範囲

(2) 中岡崎駅前広場のパーゴラ等撤去

内容：エレベーター設置工事で支障となるパーゴラ及び時計塔の撤去を行う。



道路整備業務〔予算額 1,163,000千円〕

土木建設部道路維持課
工事1係(23-6225)

財源内訳 国庫支出金 41,310千円、諸収入 24,019千円、市債 264,000千円、一般財源 833,671千円

岡崎市が管理する約2,000kmの市道について、老朽化に伴う道路整備や、大規模地震に備える無電柱化整備等を行い、安全で快適な道路通行空間の確保を図ります。

●生活道路の整備

各町内会の皆様からいただいた要望等により、側溝及び舗装状態の現地調査を行い、道路整備を進めることで生活環境の改善を図ります。



【整備前】



生活環境整備

【整備後】



●老朽化した道路施設への対応

老朽化対策

老朽化した道路施設について、安全な道路空間を確保するための対策を進めます。【市道北岡学校橋線】

【整備前】



【整備後イメージ】



●緊急輸送道路の無電柱化推進

防災対策

第3次緊急輸送道路である「市道大平田口1号線」の無電柱化の整備を進めます。

【整備前】



【整備後イメージ】



街路・道路新設改良事業〔予算額 154,093千円〕

※矢作川右岸南北道路整備業務始め8業務合算

〔令和7年度12月補正に前倒した予算額 234,312千円〕

〔令和7年度 3月補正に前倒した予算額 700,582千円〕(合計予算額 1,088,987千円)

土木建設部道路建設課
工事1係(23-6231)
工事2係(23-6251)

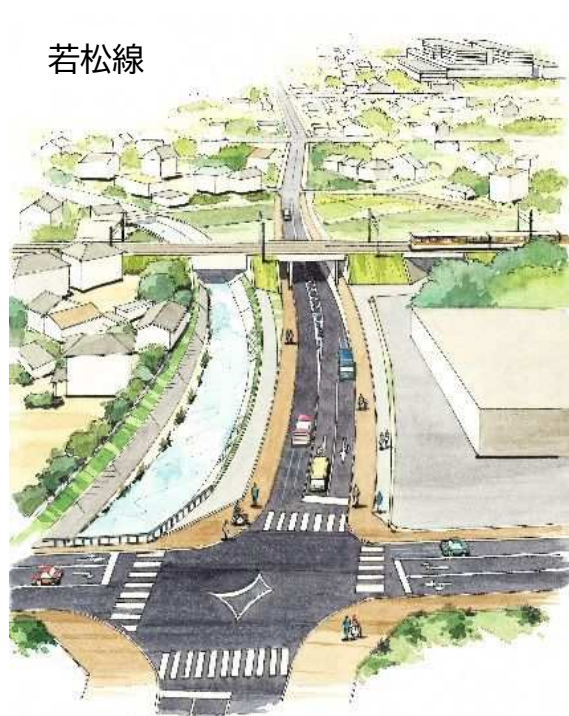
財源内訳 使用料及び手数料 459千円、国庫支出金 5,900千円、市債 5,000千円、一般財源 142,734千円

都市計画道路、主要市道等の新設及び改良工事を行います。

■事業予定箇所

【街路】・岡崎環状線・若松線

【道路】・矢作川右岸南北道路・上平徳林線ほか2路線・中島岡崎天白線・秦梨後田線ほか2路線



QURUWA戦略推進業務〔予算額 371,971千円〕

都市政策部まちづくり推進課
QURUWA戦略係(23-7421)

財源内訳 国庫支出金 158,255千円、繰入金 1,000千円、一般財源 212,716千円

QURUWA地区内にある豊富な公共空間を活用した公民連携プロジェクトを推進することにより、まちの回遊を実現させ、その波及効果として市民の暮らしの質の向上とエリアの価値向上に取り組みます。

整備が完了した籠田公園、中央緑道等の公共空間がさらに活かされるよう、主に企業をターゲットとした事業化支援としてQURUWA事業リノベーションスクールの開催、民間投資誘導のための優良建築物等整備事業の推進、QURUWAウェブ等を使った公民連携まちづくりや民間の投資や活動を誘導するための啓発を実施します。



市内企業等の事業化支援

事業リノベーションスクール



事業化事例



民間投資誘導



啓発(情報発信)



QURUWA ウェブ

優良建築物等整備事業

QURUWA地区ホテル誘致推進業務〔予算額 10,903千円〕

総合政策部企画課
公民連携係(23-6030)

財源内訳 一般財源 10,903千円

乙川リバーフロント地区公民連携まちづくり基本計画(QURUWA戦略)にもとづき、
豊富な公共空間を活用した公民連携プロジェクトの一環として「ホテル等民間収益施設の誘致」を推進します。



●スケジュール(予定)

～R8.1	～R8.2	～R8.5	～R8.9	～R9.1	R9.2～
公民連携プラットフォームでサウンディング実施	サウンディング結果の公表	募集要項の公表・公募開始	優先交渉権者決定	本契約締結	優先交渉権者による設計建設への着手

景観環境まちづくり推進業務〔予算額 101,748千円〕

都市政策部まちづくり推進課
景観まちづくり係(23-6261)

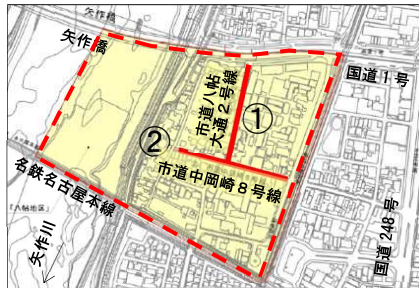
財源内訳 使用料及び手数料 816千円、国庫支出金 27,000千円、財産収入 6千円、市債 23,000千円、一般財源 50,926千円

■事業概要

本市固有の良好な景観の保全や創出を図るため、「岡崎市景観計画」に基づく事業の実施や支援を行います。

◆道路美装化事業

「八丁地区景観形成重点地区」の良好な景観形成を図るため、電線共同溝整備済の路線の道路美装化事業を行います。



道路美装化路線



市道中岡崎8号線 事業完了イメージ

■道路美装化路線

- ① 市道八帖大通2号線
延長約 160m
- ② 市道中岡崎8号線
延長約 200m

■スケジュール

- | | |
|-------|--------------------|
| 令和4年度 | 電線共同溝一期工事(①) |
| 令和5年度 | 電線共同溝二期工事(②) |
| 令和6年度 | 電線共同溝二期工事(②) |
| 令和7年度 | 入線 |
| 令和8年度 | 入線・電柱抜柱
道路美装化事業 |

◆景観重要建造物補助金

景観法に基づき指定をした「景観重要建造物」に対し、その外観の保全に必要な修理・修景に係る工事費用等の一部を助成します。

○補助割合 1/2

○限度額 300万円



● 景観重要建造物(旧平岡家住宅(銭屋)※)

※R8 助成予定



◆まちなみ修景補助金

「景観形成重点地区」及び「眺望景観保全地域」の指定された区域における建築物等の外観に係る修理・修景のうち、景観配慮指針に適合し、良好な景観形成に寄与すると認められるものの工事費用等の一部を助成します。

○補助割合 1/2

○限度額 建築物 100万円 工作物 30万円



東岡崎駅周辺地区整備推進業務〔予算額 3,415,244千円〕

都市基盤部拠点整備課
総務企画係(23-6452)

財源内訳 国庫支出金 415,055千円、県支出金 15,120千円、繰入金 1,983,100千円、市債 310,000千円、一般財源 691,969千円

■ 東岡崎駅周辺地区を「まちと人がつながる おもてなしの玄関口」を目指して整備します。

名鉄との基本協定に基づき、自由通路、橋上駅舎、駅ビル、バスターミナル等の一体整備（第2期整備）を進めます。

■ 令和8年度の主な内容

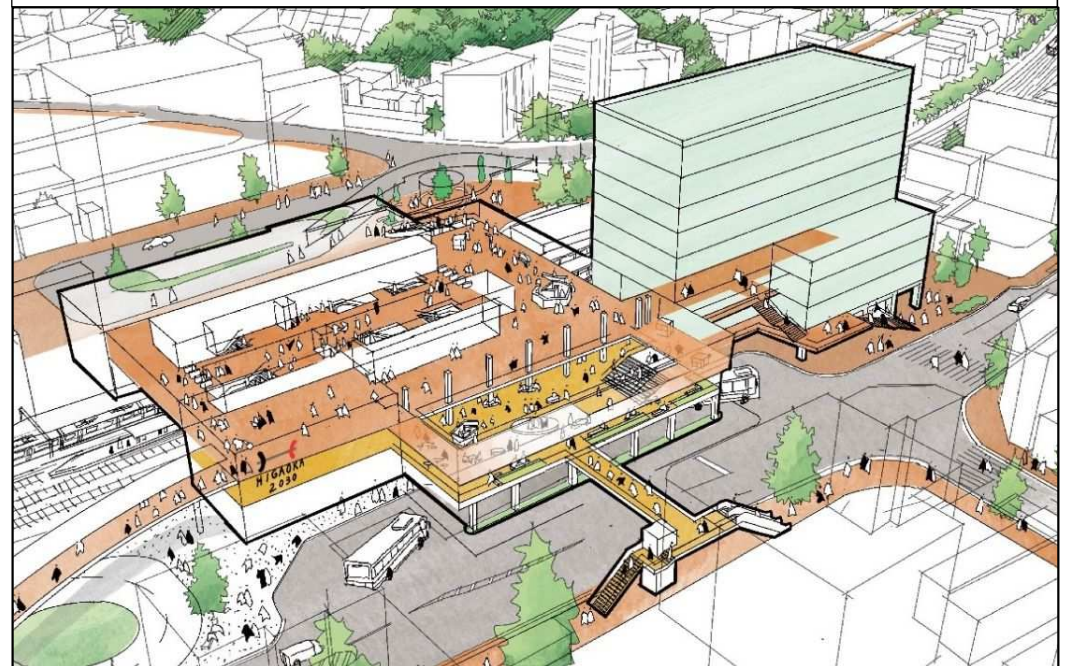
新駅ビル、バスターミナル等の整備を行う市街地再開発事業については、新駅ビルの実施設計を行います。

自由通路及び橋上駅舎の整備については、杭工事から本体の建設工事に着手していきます。

■ 整備スケジュール

令和4年度(2022年度)	都市計画決定
令和5年度(2023年度)	事業の施行認可、橋上駅舎整備着手
令和6年度(2024年度)	駅ビル解体開始
令和7年度(2025年度)	駅ビル解体、自由通路及び駅舎工事
令和8年度(2026年度)	新駅ビル実施設計、 自由通路及び駅舎工事
令和9年度(2027年度)	新駅ビル建設着工
令和10年度(2028年度)	自由通路、橋上駅舎完成
令和11年度(2029年度)	新駅ビル完成

2030年、「ひがおか」が変わります。

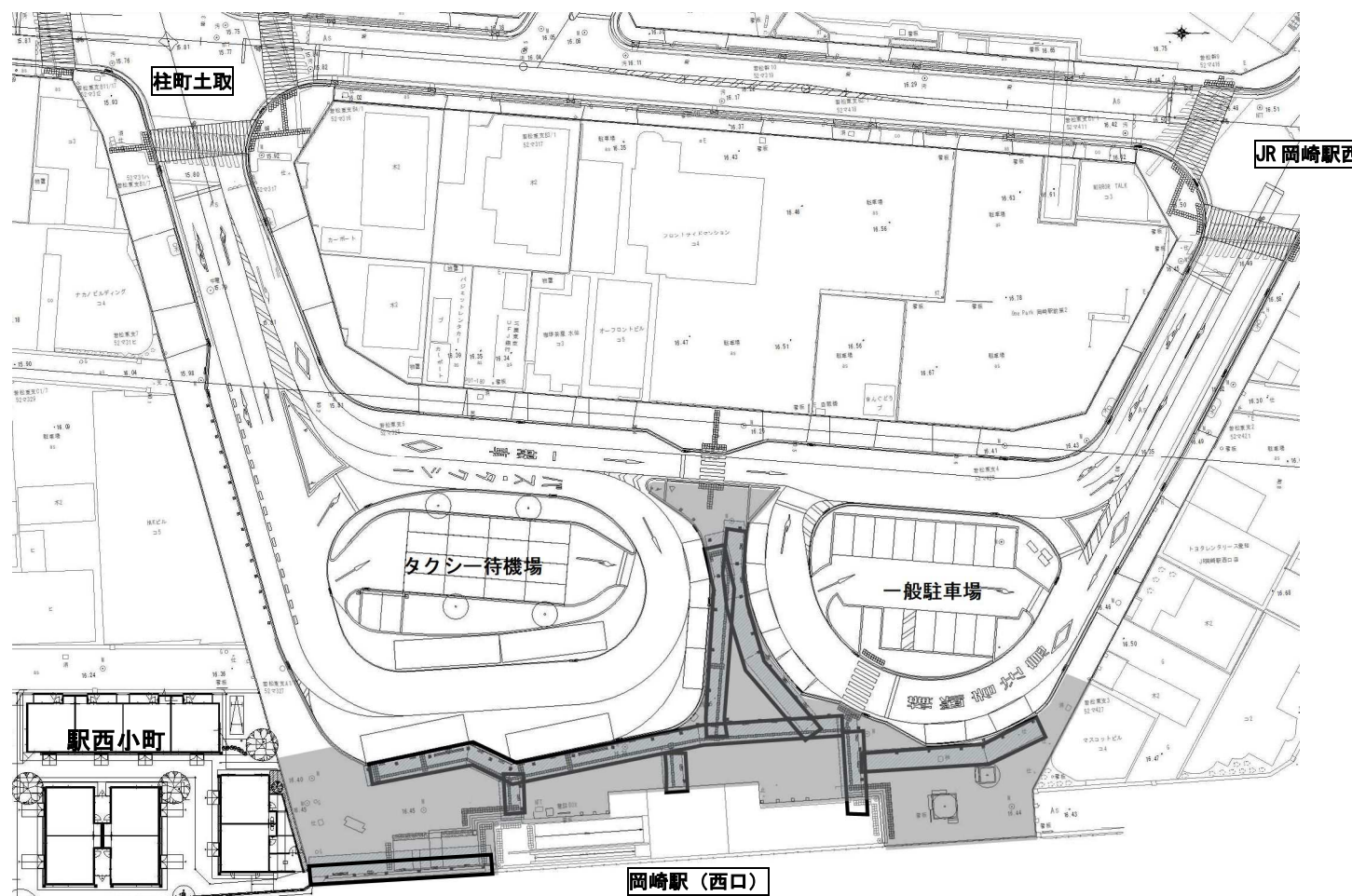


岡崎駅周辺整備業務〔予算額 137,217千円〕

都市基盤部市街地整備課
技術係(23-6286)

財源内訳 市債 28,000 千円、一般財源 109,217千円

岡崎駅周辺地区の道路、広場等の整備改善を図り、市民が安全・安心・快適に生活できる魅力と活力あるまちづくりを進めています。令和8年度は、岡崎駅西口駅前広場へのシェルター設置工事及び改修整備工事を行います。



本宿駅周辺地区整備推進業務〔予算額 19,100千円〕

都市基盤部市街地整備課
組合支援係(23-6279)

財源内訳 国庫支出金 5,640千円、一般財源 13,460千円

本宿駅周辺の交通利便性を生かした拠点づくり及び本宿駅の利用向上のため、本宿駅周辺に関する整備を実施しています。令和8年度は、本宿駅交通広場の用地の取得を進めるための土地評価、補償調査等を行います。

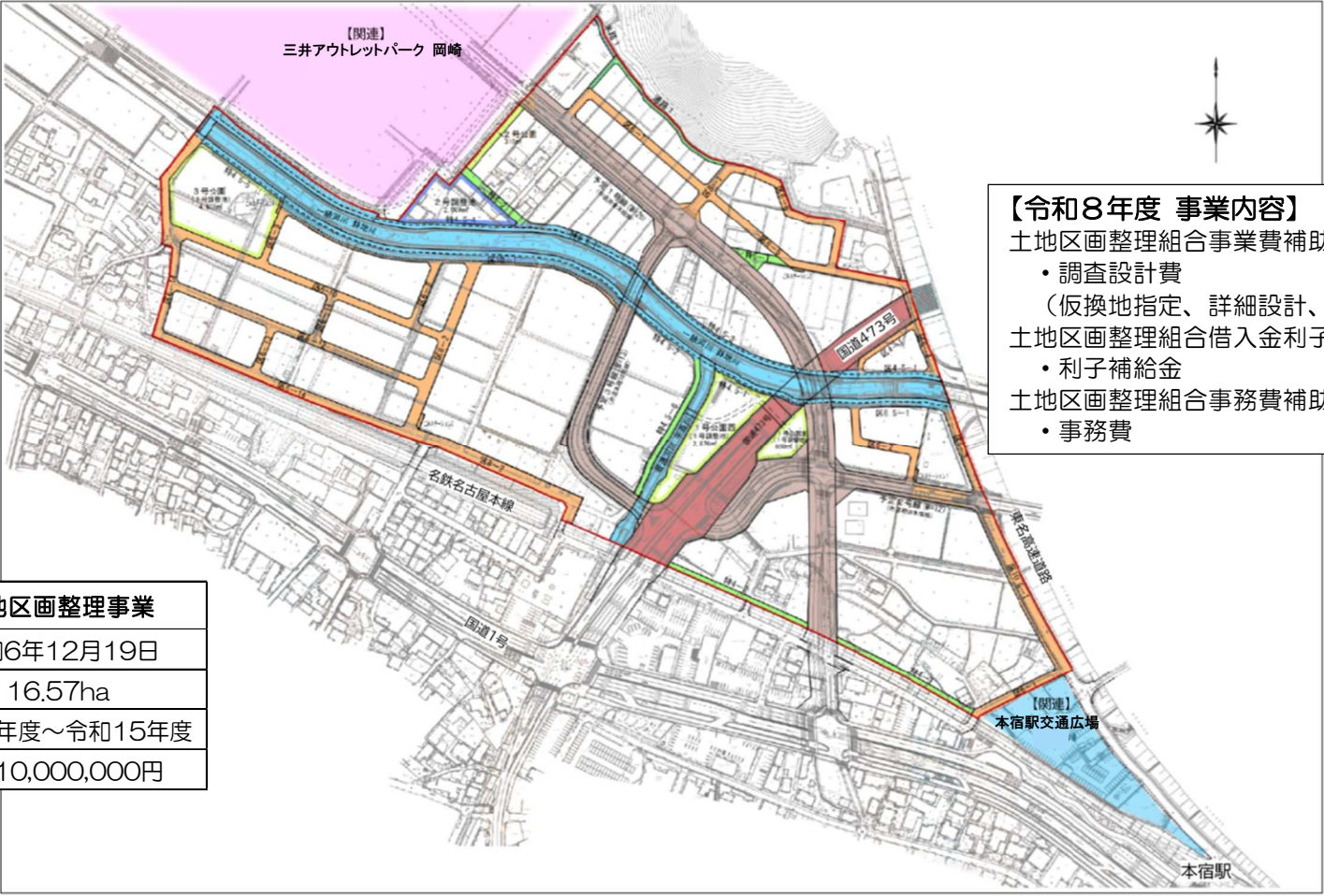


岡崎本宿駅西土地区画整理事業補助業務〔予算額 62,260千円〕

都市基盤部市街地整備課
組合支援係(23-6279)

財源内訳 国庫支出金 16,980千円、繰入金 1,000千円、一般財源 44,280千円

東部地域の地域拠点として、地域の日常生活に必要な機能を誘致し、持続可能な地域の形成、地域の魅力の向上、住民生活の質の向上を図るため、令和6年12月19日に設立認可された岡崎本宿駅西土地区画整理組合に対し、土地区画整理法の規定による技術的援助及び岡崎市土地区画整理事業助成条例に基づく補助金の交付を行います。



【令和8年度 事業内容】
土地区画整理組合事業費補助金
・調査設計費
（仮換地指定、詳細設計、画地確定測量、補償調査等）
土地区画整理組合借入金利子補給補助金
・利子補給金
土地区画整理組合事務費補助金
・事務費

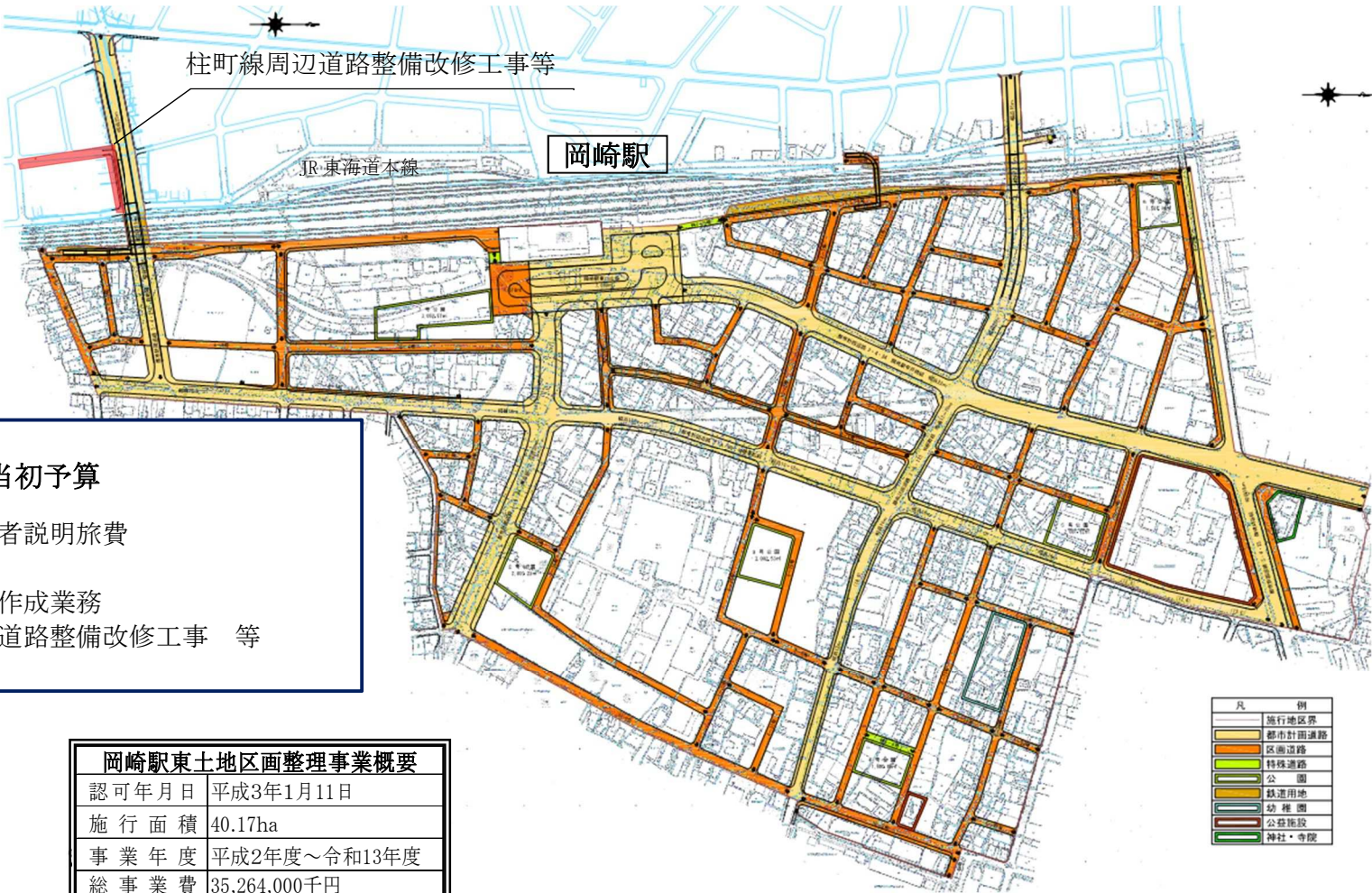
岡崎本宿駅西土地区画整理事業	
認可年月日	令和6年12月19日
施行面積	16.57ha
事業年度	令和6年度～令和15年度
総事業費	8,410,000,000円

岡崎駅東地区整備業務〔予算額 62,074千円〕

都市基盤部市街地整備課
技術係(23-6286)

財源内訳 一般財源 62,074千円

岡崎駅東地区を岡崎市南部の拠点として、都市基盤・商業環境の整備、交通体系の確立、居住環境の改善を図り、個性的で魅力あふれる街づくりを進めています。令和8年度は、換地処分に伴う清算金及び柱町線周辺道路整備に関する業務を行います。



R 8 年度 当初予算

- ・ 清算金債権者説明旅費
- ・ 官報公告料
- ・ 登記用図面作成業務
- ・ 柱町線周辺道路整備改修工事 等

岡崎駅東土地区画整理事業概要	
認可年月日	平成3年1月11日
施行面積	40.17ha
事業年度	平成2年度～令和13年度
総事業費	35,264,000千円

財源内訳	国庫支出金 15,000千円、繰入金 100,000千円、市債 50,000千円、一般財源 33,659千円
------	--

[illegible]

東広場：暗渠排水管整備、遊具撤去設置、シェルター設置

○整備内容: 殿橋下流右岸: ガザニアクイーンなどの植栽を行います。

南公園整備業務〔予算額 1,967,140千円〕

都市基盤部公園緑地課
計画整備係(23-6181)

財源内訳 国庫支出金 497,000千円、繰入金 700,100千円、市債 447,000千円、一般財源 323,040千円

令和9年度(春) 供用予定

『家族が笑顔になれる公園』をコンセプトとしたPFI方式による
設計施工・維持管理運営を20年一括とした再整備事業を推進します。



実施事項	2021年度 (R3年度)	2022年度 (R4年度)	2023年度 (R5年度)	2024年度 (R6年度)	2025年度 (R7年度)	2026年度 (R8年度)	2027年度 (R9年度)	2043年度 (R25年度)
基本計画策定	■							
アドバイザー業務(事業者選定)		■	■	■				
PFI事業 (20年間) 設計～建設 ※事業認可含む				■	■	■	■	
維持管理運営業務							■	■

事業者契約(R6.3.21)

供用開始(R9.4以降)



イメージ図

○整備内容

・機械器具購入費

大型遊具備品購入費(サイクルモノレール)

・公園整備工事請負費

大型遊具開園準備工事(塗装、施設整備等)

・公園遊具検査委託料

大型遊具保守点検業務

・施設購入費

PFI再整備事業:整備費(令和6年度～令和8年度)

など

さくらの名所づくり推進業務〔予算額 37,684千円〕

都市基盤部公園緑地課
計画整備係(23-6181)

財源内訳 繰入金 34,858千円、一般財源 2,826千円



乙川、伊賀川沿いにおける
既存木に対し延命対策
・樹勢回復業務
・樹勢回復対策検討業務
(モニタリング)

岡崎城公園におけるさくら
植樹のための業務
(桜花咲プロジェクト)
・既存樹木伐採、害虫予防
及び施肥
・遺構調査
・桜植栽

その他 クラウドファンディング
関連
・手数料
・リターン(返礼品)
製作、実施



乙川、伊賀川：樹勢回復



岡崎城公園：さくら植樹

大樹寺荘整備業務〔予算額 113,655千円〕

都市基盤部市営住宅課
整備係(23-6879)

財源内訳 国庫支出金 36,300千円、市債 73,000千円、一般財源 4,355千円

【事業概要】 老朽化している大樹寺荘（昭和 48～49 年建設）の建替えを行い、
住宅に困窮する低額所得者へ、低廉な家賃で良好な居住環境を提供します。

【整備スケジュール】

令和 2 年度	基本設計
令和 3 年度	第 1 工区実施設計
令和 4 年度	第 1 工区解体工事
令和 5 ～ 7 年度	第 1 工区建設工事
令和 6 年度	第 2 ・ 3 工区実施設計
令和 8 年度	第 2 工区解体工事
令和 9 ～ 10 年度	第 2 工区建設工事
令和 11 ～ 16 年度	第 4 工区実施設計 および 第 3 ・ 4 工区建設工事等



大樹寺住宅完成予想図（イメージ）

- 第 1 工区：R C 造 9 階建て住棟 1 棟（集会所・放課後児童クラブ併設）
- 第 2 工区：R C 造 9 階建て住棟 1 棟
- 第 3 工区：駐車場（中央）
- 第 4 工区：R C 造 5 階建て住棟 2 棟、駐車場（北側）